

2年 図画工作科

1. 単元名『ひっぱレインボー』
2. 本時の評価規準

絵の具を引きのばした形や色などを基に、自分のイメージを持ちながら自分たちの作品の造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

【思考・判断・表現】

3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	・オリジナルレインボーから何が見えるのかを全体で話し合い、着目する視点をもつ。 オリジナルレインボーからどんなものが見えてくるかな	A1 交流の視点を共有するために、大型モニターに作品を提示する。
展開	・児童の作品からなにが見えてくるのかを話し合いながら、イメージを膨らませる。 C:レインボーのくねくねの部分がりゅうに見えたんだけど、どう思う？ C:イルカと書いてあるけれど、どこからそう思ったの？ C:黄色の部分がひまわりの花みたい。	C1 オクリンクの提出ボックスに作品の写真を提出させ、自分や友達の作品をコピーして書いたり、やり直したりする。
終末	・今日のアイデアをもとに、自分の作品にぴったりの〇〇を作品に描いてみましょう。 色や形からそうぞうしたり、かみをたてやよこにして見たり、ぶぶんやぜん体をみると、オリジナルレインボーから〇〇が生まれた。	B4 学習を振り返り、次時に描こうと決めたものを自分の作品に残す。

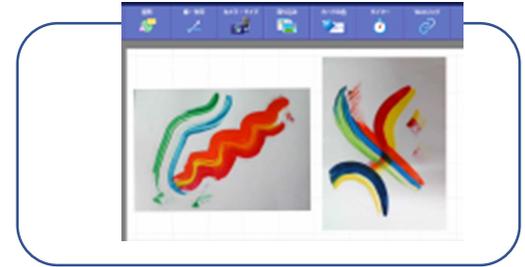
4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	I	問題解決・探究における情報を活用する力
	③	受け手の状況を踏まえて発信する力
		相手を意識し、わかりやすく表現する

A1 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「オクリンク」

	活用の流れ
①	見本用の作品を提示し、作品の着目する視点を共有する。



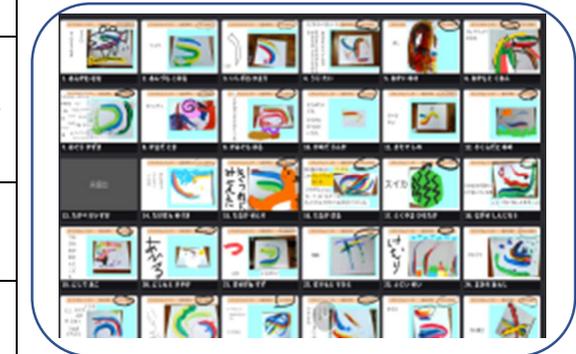
<https://miraised6.benesse.ne.jp/okurinkweb/board/editBoard/>

C1 発表や話し合い

B4 表現・制作

使用するアプリ等 「オクリンク」

	活用の流れ
①	オリジナルレインボーの作品を写真に撮り、何が見えるのか自分の考えを書く。
②	考えをもとに友達と交流し、イメージを膨らませる。
③	自分のまとまった考えを作品に表現し、次時につなげる。



活用の効果

- ・自分の考えと友達のことを交流し、chromebook内の作品に書き込むことで自分の作品のイメージを固めたり、膨らませたりすることができた。
- ・chromebookにある情報から、友達のことを読み取り、詳しく尋ねたり話し合ったりすることができた。